

みなさん、こんにちは。

のじぎく兵庫国体も後半の部に入りました。明石市内で行われた9人制バレーボールと自転車競技も無事終了し、ウェイトリフティングは6日(金)から始まりました。県内各地の会場で熱戦が繰り広げられ兵庫県は好成績を挙げています。また、「スポーツ芸術」として舞台芸術、展覧会など、全国から国体に参加する選手や役員、観客に向けて開催地の郷土や住民の活動を紹介する催しがあります。国体開催にあわせて実施する文化芸術活動として昭和30年から実施されており、博物館で7日(土)から始まる「須田剋太展」もスポーツ芸術のひとつです。

1. 『須田剋太展 生誕100年記念 生命の讃歌』10月7日(土)～11月5日(日)

7日(土)より始まる「須田剋太展 生誕100年記念 生命の讃歌」に先立ち、6日(金)16:00から展覧会、博物館関係者を招待して開会式が開かれました。大胆で力強い筆跡の具象画・抽象画、画面からはみ出し、飛び出してきそうな書や陶板など114点を展示しています。

開会式後、熱心に観覧されていた貼り絵作家の財田順子さんと童話作家の高濱直子さんにお話を伺うと、「とにかく大胆で元気にあふれ、いろんな手法にびっくりです。学ぶところが多いですね」と財田さん。「基本がしっかりしているからこそ、こういった作品の展開があるんでしょうね」と高濱さん。お二人ともすっかり須田剋太ファンになられたようでした。



小西教育委員長



テープカット



第1会場(2階)

今回は2階の第1会場に油彩やグアッシュ、1階の第2会場に書や陶板、第3会場には年賀状の原画を展示しています。

明石高校美術科の生徒も放課後に先生と一緒に観覧しました。2年生の若林さんは「ポスターを見て興味をもったのですが、実物を見るとやっぱり色がとってもいいです」と話してくれました。

「たくさんの生徒に見てもらいたいですね。個性的な作品なので、生徒にはいい刺激になると思います」と引率した中山先生もじっくりと観覧されていました。



じっくりと



迫力があります



第3会場(剋太の年賀状)

2. 講演会「須田剋太さんで思い出すこと」 申し込み受付中

考古学者で同志社大学名誉教授の森浩一氏を講師に「須田剋太さんで思い出すこと」と題した講演会を開催します。「街道をゆく」の司馬遼太郎氏や須田さんと中国を旅したことなどの交流の様子が語られます。

日時/10月15日(日)14:00～

会場/当館2階会議室

定員/100名

要観覧料、電話予約が必要です。